


10月の「図書館おすすめ絵本」です


「おひざにだっこのおはなし会」（毎月第3金曜10：30～）の会場が、今月から来年3月まで、中央公民館の児童室に変更になります。

	書名	どろろんびょういん どっきり どきどき	分類	Eカ
	著者	荻田 澄子／作	出版社	金の星社
<p>夜だけひらく『どろろんびょういん』はおばけのための病院です。鼻をハチにさされたてんぐや、暑くてとけそうな雪女たちがやってきます。 そんなある夜、熱を出した人間の男の子がどろろんびょういんにきました。人間を診るのは初めてのお医者さんは診察できるのでしょうか。</p>				

* そのほかの新着絵本 *

『あなのあいたおけ』 あなのあいたおけにも大切なやくわりがあるのです
『そんなときなんていう？』 助けてもらった時や人にぶつかった時はなんて言うのかな
『ぼくのきんぎょをやつらがねらう！』 たからものの金魚をやつらから守るんだ！
『ろってちゃん』 ろってちゃんはボールなげが上手な車いすの女の子です

ほか

	書名	しっぽのつり	分類	Eイ
	著者	いもと ようこ／文絵	出版社	金の星社
<p>なまけもので大うそつきのきつねどんが、冬になってたべものがなくてふらふら歩いていました。そこへしょうじきで気のいいかわうそどんが魚をたくさんかついでやってきました。きつねどんは魚を全部食べてしまい、かわうそどんは魚のつり方もおしえてやりました。教えてもらったとおりにきつねどんがやってみると……。</p>				

* そのほかの日本のむかしばなし絵本 *

『かもとりごんべえ』 ごんべえさんが思いついたかもをたくさんつかまえる方法は？
『こぶとりじいさん』 いつもにこにこしているといいことがありますよ
『さるかにがっせん』 いじわるすると何倍にもなって返ってきます
『つきのうさぎ』 月にうさぎがいるのはね、きれいな心をもっているからです

ほか

絵本は基本的に、書名の頭文字の50音順に書架に並んでいます。例えば、『つきのうさぎ』は棚の“つ”のところにあります。見つからない時はお気軽に図書館員に声をかけてくださいね。